

令和6年度事業計画

わが国の総人口は、令和5年（2023年）9月1日現在、1億2,434万人と人口減少が続く中65歳以上の高齢者人口は3,623万人となり、総人口に占める割合も29.1%（高齢化率）となっております。阪南市においても高齢化率が令和5年12月現在34.5%と年々上昇しております。また、少子化が進み、労働人口が減少していく中で高齢者が意欲と能力のある限り年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現が重要となっています。しかしながら、65歳までの定年延長や継続雇用制度の義務化やコロナ渦により会員の年齢層の上昇や新規会員の入会不足なども散見します。

このような高齢社会の中で、シルバー人材センターの役割は、その地域における高齢者の中核的な活動拠点として、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的、短期的または軽易な就業機会を確保・提供し、働くことを通じて喜びや生きがいの充実、健康維持、また、地域社会の活性化を図っていくことです。

シルバー人材センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」に基づいて、関係当局のご支援や各種団体及び発注者のご協力をいただきながら、財政の健全化と事業運営の効率化を進めるとともに、会員拡大、就業機会の確保、適正就業の推進に努め、地域社会のセンターに対する理解と信頼を一層深め、活力ある地域社会づくりに貢献することを主たる目的に、以下の事業を推進します。

1. 基本方針

- (1) 会員の拡大の推進
- (2) 普及啓発事業の推進
- (3) 安全・適性就業事業の推進
- (4) 労働者派遣事業及び職業紹介事業の推進
- (5) デジタル推進事業
- (6) 研修会・講習会事業の推進
- (7) 地域貢献とボランティア活動の推進
- (8) 移転による事業と財政基盤の維持の推進

2. 事業実施計画

(1) 会員の拡大の推進

センター事業の拡大のためには、会員の確保が不可欠であります、センター事業の発展のため、会員拡大に取り組みます。

市広報誌に会員募集の記事を年2回掲載する。また、入会説明会を計画的と柔軟性をもって行い説明会の参加者の拡大をする。会員の口コミや会員募集のティッシュの配布をして入会活動を推進し、新規会員の増強を努めます。

(2) 普及啓発事業の推進

シルバー人材センター事業を社会に広く周知するとともに、高齢者の加入を促進するために、シルバー事業の PR チラシの配布や施設への設置、ボランティア活動、ホームページの活用や阪南市のホームページに当センターホームページのバナー広告の掲載、「シルバーはんなん」を発行し、民間施設、公共施設に設置をしてシルバー事業の周知拡大をして、公益社団法人であるセンターの普及啓発に努めます。

(3) 安全・適性就業事業の推進

高齢者が安全に就業できるよう徹底した事故発生防止に努めるため安全就業推進員の配置や安全対策部会の設置、また、安全パトロールの実施等により事故「ゼロ」を目指します。また、安全就業に対する意識の徹底を図り、シルバー事業の理念である「共働・共助」のもと公平な就業機会の提供を図ります。

(4) 労働者派遣事業及び職業紹介事業の推進

臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務の雇用による就業を希望する高齢者に対して、就業機会を確保するため事業所及び市等に労働者派遣事業及び職業紹介事業を推進します。

(5) デジタル推進事業

シルバー人材センターと会員との Web を使ったコミュニケーションツールにより会員のスマートフォン等に情報伝達を行い連携の強化をする。

(6) 研修会・講習会事業の推進

知識・技能の向上を図るため講習会を開催し、就業等に必要な知識、技能向上を目的とする講習を開催する。また、健康、教養、デジタル機器の操作向上を目的とする講習会を開催します。

(7) 地域貢献とボランティア活動の推進

シルバー普及月間に市内一斉清掃のボランティア活動を行い、ボランティア班による定期的に行う市内清掃活動により社会福祉活動を実施します。

(8) 事務所移転による事業と財政基盤の維持の推進

事務所移転により、入会説明会、会議や講習会の開催場所等や屋外作業の事業構築を行います。また、新たな負担等で当センターの財政基盤の悪化が見込まれ為各種経費の見直し、事務事業の効率化、多様な方法により財政の維持を図ります。